

これで解決!図工の授業

何から変えたらよいか分からないあなたへ

本資料は、一般社団法人教科書協会 「教科書発行者行動規範」に則り、 配布を許可されているものです。 執筆 中村珠世

監修 阿部宏行

日文の実践事例、教科情報 詳しくはWebへ!

日文



※本冊子掲載 QRコードのリンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。 ※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。 本書は、日々指導に励んでいる先生方の 疑問や悩みに寄り添いながら、 一緒に解決の道を見付けていく一冊です。

本書の構成

まずチェック!	図工で大切にしたいこと	. 2
授業づくりを考	<i></i> えよう	. 7
数師田指導書2	をうまく活用しよう	33

登場人物



あおば先生

悩み多き新卒2年目。 低学年の学級担任。



さくら先生 5年目。高学年 の学級担任。



かえで先生 20年目。主幹教諭。 専門は図画工作科。



けやき先生 かえで先生の大先輩。 専門は図画工作科。

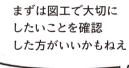






いいんじゃない? ぐちゃぐちゃ





遊んでいる



そんなことより すぐに使える指導の コツとかの方が…





子どものよさを伝える魔法の言葉は

こんなことしてない? チェックリスト

> こんな視点で 考えてみよう

図工で大切に したいこと

こんなことしてない? チェックリスト

□ つい「上手だね」ばかり言ってしまう。

─ 何を褒めたらよいか、よく分からないことがある。

─ 声をかけるタイミングや言葉に悩むことがある。

どんな子にも「上手」と 褒めて、伸ばすようにし ているんだけどなぁ



æ

んな視点で考えてみよう

「上手(じょうず、うまい)」は、特に「技術や技量が優れていて、他より飛び抜けている」として使われることが多いよね。これは図工が「技術が大事」「そっくりかくことが大切」という考えにつながりかねないところがあるね。技術の向上は、自己実現のための方法であって目的ではないよねぇ。

あなただったら、どんなふうに声をかけてもらうとうれしいかな? 子どものつもりで想像してみよう。例えば、工作でしかけを工夫していたらそこを先生が褒めてくれると気持ちいいね。自分なりに考えて、工夫することには発想力や技能などの創造性の発揮があるから、そこを認めてくれる理解者がいたらうれし

いんだよね。

先生から自然に出てきた「すてき」「きれい」「すごい」などのつぶやきもうれしいし、驚嘆の表情からも言葉以上に伝わってくるものがあるんじゃないかなぁ。

さて、教師の視点に戻すと、授業中に子どもが何をしているのか分からないときもあるよね。その場合も何をしているのかを怒ったような表情で聞くのか、興味をもって問いかけるのかでは、子どもの受け止め方が違うよね。先生に「叱られている」と感じるのか、「こうしたいのにうまくいかないんだ」と相談したくなるのか。子どもたちとの日頃の関係性の積み重ねがあって、見えてくるもの・伝わる言葉があるんだねぇ。



子どもがうれしくなる言葉、 思わず話したくなる問いかけがいいねぇ

こんなことしてない? チェックリスト

楽しく活動してほしい のに、思い通りにいか ないことが多くで……

- ─ 教師の説明や指示がつい長く(多く)なってしまう。
- ─ 授業中、子どもがあまり楽しくなさそう。
- ─ 授業中、子どもが夢中になって話す声はあまり聞こえない。





こんな視点で考えてみよう

どんな授業を目指しているのかなぁ。「無言で画用紙に向かう授業」かな、「わいわいと子どもの声が響く授業」かな。発達によって違いはあるけれど、子どもに「黙ってつくりなさい」というのも変だよねぇ。かといって、授業に関係のない話があちこちで起こるのも困るね。

例えば、再現的な絵をかくような題材では「似ている・似ていない」に関する話が多くなるけれど、これは、目標が1点に集中することで生まれるつぶやきなんだよねぇ。子どもが自ら考えを巡らせたり工夫したりすることが少ない題材だともいえるね。いちばん

避けたいのは、「作業」のようにただ手を動かして同じようなものをつくること。そこでは、主体的で創造的な思考が働かずに、つくることに無関係な「おしゃべり」が発生してしまうんだよね。

子どもたちから「いいこと考えた!」「この色いいでしょ」とか、「見て見て、きれいでしょ」「ここどうやったら接着できるかなぁ」などの製作に関わるつぶやき、ひらめき、発見の言葉が自然に出てくるのはいいねぇ。 先生からの指示や禁止事項が多い指導は、子どもが委縮してしまうよね。そうすると受け身の姿勢が身に付いてしまうことになるねぇ。



子どもが夢中になったり、 発見を伝えたくなったりする環境を整えるのが大事だねぇ

| 図 | 〒 で 大 切 に し た い こ と 1|-

子どものよさを伝える魔法の言葉は 「すてき」 子どものつぶやき、ひらめき、 発見の言葉でいっぱいに

2

こんなことしてない? チェックリスト

■ 教科書に載っているような作品をつくらせたい。

□ 指導の仕方がよく分からないので、

自分が子どものころに経験した作品をつくらせている。

■ 教科書の通りに指導しなければいけないと思っている。

教科書に載ってるような作品をつくるのがゴールですよね?



쏀

こんな視点で考えてみよう

教科書には、子どもの発達や学習指導要領に示す ねらいを踏まえて、学習の環境や提案の仕方など先 生の働きかけが示されているね。活動中の子どもの 表情がいいよねぇ。でもね。クラスの子どもたちは、 みな個性も経験も違う存在だよね。集められる材料 が違うこともある。自分のクラスの子どもたちが成長 する姿を思い浮かべながら、熱中して取り組める題 材を考えたいね。

題材づくりは先生の創造的な仕事なんだなぁ。教 科書の題材は参考例として、自分の学級に合わせて 再構成してもいいねぇ。 具体的には、学習指導要領が示す内容を基にして、 使う材料や用具のことも考えながら年間指導計画を 立てるよね。材料の保管場所や使用する用具の点検 などもしておくと安心だね。保護者や学年の先生方 にも協力してもらうと準備も心構えもできるよ。

題材名は、子どもと題材との出会いのカギになるよ。「面白そう」「やってみたい」と意欲がわくとともに活動も内容がつかめるものがいいねぇ。相手のことを思ってプレゼントを選ぶように題材を検討したら、「どんな言葉を添えて渡そうかなぁ」と、子どもも先生もわくするような導入の演出も考えるといいねぇ。



目の前の子どもたちに合わせて、 教科書の題材をアレンジするといいよ

こんなことしてない? チェックリスト

- □ 子どもから「材料がない」と言われ、焦ることがある。
- ─ 授業の途中で足りない用具を取りに行くことがある。
- □ ねらいやポイントを考えずに授業を行って、うまくいかないことがある。
- あとから追加の説明や指示を思い出し、 子どもの活動を止めてしまうことがある。

材料や用具は一通り揃えているつもりなんだけど……



ը

こんな視点で考えてみよう

事前に、子どもが使用する材料や用具で実際に試すことで「こんなとき失敗する子どもが多く出てきそう」「失敗したときの予備も用意しておこう」などの気付きにつながるよ。子どもと同じ条件でつくってみたり、かいてみたりすると「あの子はここでつまずくかもなぁ、そのときの手立ては……?」というように、子どもの動きの予測と対応策を考えることができるねぇ。

「片付けの時間も入れて、製作時間をどれくらいとるか」「時間内に終わりそうもない子への配慮をどうするか」なども事前に決めておきたいね。手先が器用な子どももいれば、体験不足から思うようにできない

子もいるから、それぞれの対応も考えたいよね。

授業が始まったら、子どもは自分で考えたことを行動に移そうとするよ。そこからは「子どもの時間」なので、安全面での配慮以外は基本的に子どもに委ねることになるよねぇ。だから「教材研究」の精度を上げることで先生の想定と子どもの実態のズレを事前に埋めることができるんだね。

それでも授業では予想外のことが起こるよね。授業中だと焦ってしまうこともあるけど、そんなときも子どもの思いを受け止めて、それを実現する支援ができると最高だねぇ。



教材研究は「先生の引き出し」を 増やす時間なんだよねぇ

- 🗵 I で 夫 切 に U た U こと 3-

子どもの実態に合わせて 題材を考えよう - 図 🗖 で 大 切 に し た い こ と 4

授業前の準備が何より大切

4

こんなことしてない? チェックリスト

□ 失敗しないように、細かいことまで指示や説明をしている。

□ できるだけ、みんな同じ方法にしたら失敗しないと思う。

─ 失敗しそうだと思ったときは、その前に手を出している。

─ 失敗した子には、とりあえず新しい材料を渡している。

─ 失敗した子には、上手な表し方を教えてあげている。

成功体験によっ て自信をつけさ せたいんです



☑ こんな視点で考えてみ

子どもが「こうしようと思ったけど、思った通りにはならなかった」という失敗はいくつもあるね。でもその"失敗"って本当に失敗なのかなぁ。その子がそれを実現しようとしたときに、いろいろ考えたり試したりしたんじゃないかな。失敗をさせないように先回りすることで、資質・能力を発揮する機会を奪っていることにならないかなぁ。

試しながら本人が「別の方法もあるな」と解決のヒントを見付け出すことが理想だね。それでも思い浮かばないときに先生から「こんな方法もあるけどどう?」と提案できたらいいねぇ。製作中に起こり得る「失敗」は、次への意欲や粘り強さを育てるチャンス。「挑戦

の証」として、見守ることのできる環境をつくれるといいよねぇ。

半面、"指導の失敗"はなくしたいよね。材料や用 具が適切でなかったり、活動場所の設定がよくなかっ たりすることで起こる失敗だね。

これは、先生自身の"直接的な体験"の不足から起こることが多いので、先生が子どもと同じことを事前に体験しながら「あの子には」「この子には」と、子どもの目線で指導を考えられるといいよねぇ。

それにはやっぱり、先生が授業前に行う「教材研究」が大切なんだねぇ。



"失敗"にもいろいろあるねぇ。 先生の指導の失敗はなくしたいなぁ

-® I @ ★ 切 C D た U C と 5-

チャレンジの失敗は 「次のヒント」発見のチャンス

「図工で大切にしたいこと」を基に…

授業づくりを 考えよう

図工で大切にしたいことは分かったものの、 授業の中でどう実現していけばいいの……? ここからは、授業づくりのポイントを 解説していきます。







どうしても「明日の授業どうしよう…」から 考え始めちゃうけど、もう少し手前にある 年間指導計画(年計)から考えようか

教科書の 順番诵りに やってますよ









年間の見通しをもつと今日の 授業をどう位置付けたらいいか イメージがもてるよ

1年間で育てたい子どもの姿

三つの資質・ 能力のバランス

活動内容の バランス

用具の 取扱いなど

各学校で考える1年間の学習内容

確かに



評価にも つながるね

年間指導計画に ついては10ページへ

「授業づくりを考えよう|の構成



見通しがもてたら「大切に したいこと」を実現するポイントを 時系列で教えるね



「大切にしたいこと」を基に考えると、 必要な理由が分かりやすい!





ページの見方 取り組むこと 1. まず先生が、子どもに なったつもりでやってみよう 授業の前 中・後が

ポイント

教師用 指導書の $\neg\neg!$

分かる 教師用指導書の ココ!って…?

実はね…

各ポイントについては 教師用指導書に題材ごとに 詳しく載っているんだよ



教師用指導書について 詳しくは33ページへ



1. まず先生が、 子どもに なったつもりでやってみよう

教科書の題材は参考例です。掲載されている指導の内容や作品例を参考にしなが ら、まず先生自身が子どもになったつもりで、試しにやってみたりつくったりしてみま しょう。その中で、先生が「面白いな」「ここは少し難しいかも」などと感じたことが、 題材や授業づくりのヒントにつながります。

● 「もし、あの子だったら……」と 想像してみよう

- ▶面白いアイデアが浮かぶあの子だったら……
- ▶細かいところまで大切につくるあの子だったら……
- ▶図工が少し苦手なあの子だったら……

など、何人かの姿を思い浮かべて「あの子だったらどんなこ とするかな」と想像しながら取り組みましょう。



● 「もし、材料を変えてみたら……」と 試してみよう

例えば、紙を破ることをきっかけに絵に表す題材(1・2上)で は、【色画用紙・クラフト紙・新聞紙】の3種類の紙が教科書 の作品例で使われています。紙によって、色だけでなく厚さ や硬さなども異なり、破るときの感触や破れ方も変わってき ます。接着も子どもと同じ用具で試すなど、子どもの立場で 考えてみましょう。







数師用指導書の33!

授

業

\2. 資質・能力に基づく目標を考えよう/

[こんな視点をもって取り組んでみよう]

ペイン・イン・イン・イン・イン・ベージを発揮している姿をイメージしよう

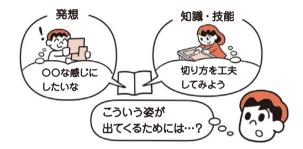
● 子どもの 「学びの経験 |を整理しよう

材料や用具、技法といった前学年までの既習事項 について整理してみましょう。子どもの「学びの経 験 | を整理することで、目標に到達するための手立 てを考えることができます。子どもの実態を踏まえ て、指導内容を考えてみましょう。



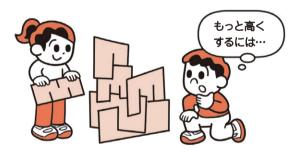
●教科書を参考に

教科書には、三つの資質・能力(知識及び技能・思 考力、判断力、表現力等・学びに向かう力、人間性等) を踏まえた育てたい力や活動の様子などが示され ています。その題材において、子どもが資質・能力 を発揮している姿を考えながら、題材の目標を設定 しましょう。



■子どもが「挑戦したい」と思えるように

少しの抵抗感は、子どもの意欲を高め、工夫する姿 を引き出すきっかけになります。「ちょっと難しそう だけど、友だちの工夫をヒントにしたらできるかもし れない」「挑戦したい!」と思えるような"適度な目 標"の設定によって、子どもたちが資質・能力を発 揮する場面を題材の中につくっていきましょう。



子どもが資質・能力を発揮する姿を考えていくと、「何をつくる(かく)か」「どんな活動にするか」など、その題材 での学習の内容や流れが決まっていきます。

年計 とは? 年計は目の前の子どもたちに合わせ、どんな資質・能力を育むかを意識しながら考えるものです。 各自治体の教育委員会や教科書会社が提示する『年間指導計画例』などを参考にしながら、子ど もや地域の実態、各小学校の環境を踏まえて内容や時数をカスタマイズしてみましょう。

さらに詳しく

令和6年度版 指導者用デジタル教科書(教材)▶これで解決! 図工の授業[電子ブック]巻末

教師用指導書の33!

朱 書 朱書編 解 説 指導解説編 → 各題材 ■ 育てたい子どもの姿

3. 「伝えること」「伝えないこと」を 考えよう





党先生の指示ばかりになっていないかチェック

曲井通にすることは?

学習のめあてや 時間など、活動 に取り組む上で 全員が見通しを もつべきことは、 共通の内容とし て伝えましょう。



一人ひとりが考えることは?

表したいことやエ 夫することなどは、 子どもが自分自 身で「こうしよう」 と考えたり、決め たりする場面を 設定しましょう。



●教えるべきこと、教えてはいけないこと

用具の使い方や 安全指導などは 必ず指導します。 一方、子どもがエ 夫することや気 付きそうなことは 先に教えず、見守 りましょう。



●実際にやってみて感じることは?

子どもは実際に 材料や用具を手 に取りやってみる ことで、いろいろ なことを感じた り、自分の感覚を 通して分かったり していきます。



教師用指導書の33!







4. 子どもと題材の「出会いの場面」を 大切にしよう



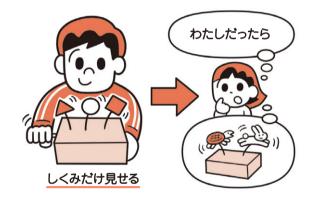


[こんな視点をもって取り組んでみよう]

プレゼントをもらう子どもの気持ちになってみて

●「わくわく | 「やってみたい! | が 生まれる出会いにしよう

わくわくする気持ちは活動に向かう原動力です。「面 白そうだ」「やってみたい」といったわくわくする気 持ちが生まれたら、子どもは材料や場所に向かって いきます。導入では、子どもたちにプレゼントを贈 るような働きかけで、材料や活動に対する興味や 関心を引き出しましょう。







■子どもは「やってみたいこと|「表したいこと|が生まれたら動き出す

材料を触ってみたり、活動場所を見て回ったりするなど、材料や場所などと関わる中で「わたしはこうしたい」と いう目標が生まれたらOK! 子どもたちは先生の指示がなくても、自分なりの方法で動き出します。

●製作手順の説明ばかりに なっていないかチェック

題材の見通しをもたせるためとはいえ、必ずしも活 動の始めから終わりまでの流れを詳しく説明する 必要はありません。「この材料をこうしてみたら?」「こ こで○○をしてみたら?」というように、題材への興 味や関心を引き出す言葉かけを大切にしましょう。

●完成作品でゴールを示すことは 本当に必要?

ゴールが分かってしまうと、興味や関心は薄くなっ てしまうもの。大切なのは、活動の見通しをもてる ようにすることです。子どもたちが自分なりに「〇〇 になったらどうなるか」「〇〇してみよう」と構想を 膨らませる姿を導入で引き出しましょう。ただし、個 別の指導が必要な場合は、完成作品で具体的な活 動のイメージをもてるようにすることもあります。

●題材名と提案する言葉を工夫しよう

「トントンどんどんくぎうって」(3・4上)のように活 動のイメージを伝える題材名もあれば、「あんなと ころがこんなところに1(5・6上)のようにわくわくす る気持ちやイメージを引き出す題材名もあります。 教科書を参考にしながら、題材のねらいや活動に 合わせて、どんな題材名でどのように提案するとよ いか考え、工夫しましょう。

●どんな子も「やってみたい! |と 思えたら、題材との出会いは成功

教室には図工に対して苦手意識をもっている子も います。題材との出会いの場面では、そのような子 どもの表情や手の動きなどにも注目しながら、どの 子にも「やってみたい」と心に火が灯ったかどうか を見取りましょう。

言葉だけでなく動きも説明になる









13





「こんな視点をもって取り組んでみよう〕

一協働的で対話的に学ぶ子どもに合わせて

●授業のねらいに合わせて

造形遊びならどのような場所が合いそうか、絵に表す活動なら、工作なら……と活動内容や授業のねらいに合 わせて場所を決めましょう。

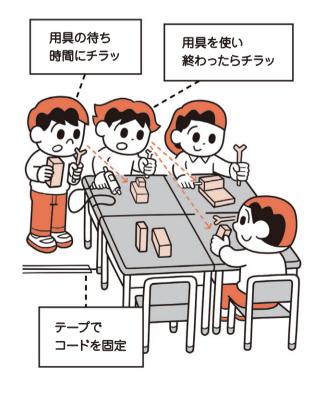
●近くの友だちと見合う・話し合う

ふと顔を上げると友だちの様子や表現が目に入る座 席の向きや配置になるよう工夫してみましょう。表現 のよさや工夫などを交流する姿が生まれます。

●共通の材料・用具コーナー +安全面の配慮

活動中の子どもの動線をイメージしながら、材料・ 用具コーナーの場所を考えてみましょう。 移動の途 中で友だちの活動を見たり、それによって気付いた りする姿を引き出すことができます。

また、電動糸のこぎりやグルーガンなど電源につ なぐ用具や、のこぎりなどの刃物を使うときは、隣 との距離を十分に取り、コードが手や足に引っかか らないようにテープで固定するなど、安全面にも十 分配慮しましょう。



\6. 材料・用具を考えよう/





戌 一人ひとりの工夫が生まれる材料・用具を

●材料探しも大切な活動

身の回りにはさまざまな形や色、質感のものがあります。「この形、使 えるかも」「この触った感じを写してみたら……」など、材料からの発 想を楽しみながら、自分が使いたい材料を探すように促してみましょう。

●「○○ならこの材料 | になっていない?

例えば「絵をかくときは白い四つ切の画用紙」といった先入観で材 料を用意していませんか。題材で育てたい資質・能力に合わせて考 えると、画用紙の大きさや枚数など、柔軟に設定できそうですね。

●教材のセットは「材料 | をうまく活用して

材料がセットになっている教材は、そのまま使うとみんな同じような 作品になりがち。一方で「どの子にも共通の材料がある」という利点 もあります。活用の仕方を工夫することが大切です。

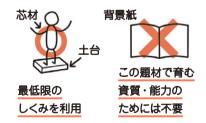
●用具を使うときの「コツ」を子どもとの合言葉に

例えばカッターナイフの刃を出すときには、「1カチ、2カチだね」とい うように、子どもから出された言葉やどの子にも分かりやすい言葉 を使って、共通の合言葉をつくってみましょう。





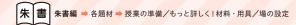
紙の形から発想が広がることも!





教師用指導書の33!

教師用指導書の33!



業

1. 子どもが必要な情報を キャッチできるようにしよう



[こんな視点をもって取り組んでみよう]

必要なタイミングで活動に生かせる情報を

活動時間の見通しや手順、用具を使うときに気を付けることなどを先生がまとめて伝 えても、その情報を必要とするタイミングは子どもによって違います。活動の途中で「用 **具の使い方、どうだったかな | 「友だちの工夫を見てみたい | と感じたときなど、子ども** が必要なときに見て、活動に生かしていくことができるようにしましょう。

ICT機器を活用しよう

子どもが持っているタブレット端末などを活用すると、写真や動画などの撮影や確認、共有が簡単にできます。 学年や活動内容に応じて、効果的な使い方を考えましょう。

▶用具の使い方

初めて使う用具は、教科書のOR コードから使い方動画を確認しま しょう。必要に応じて何度でも見る ことができます。

▶いろいろな表し方

基本的な技法や、友だちのいろいろ な表し方を写真や動画で共有してお くことで、表現のヒントになります。

Q R QRコンテンツ活用ガイド



●掲示物を活用しよう

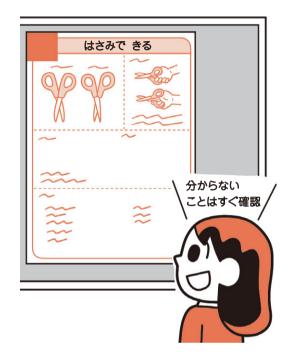
▶いろいろな表し方

いろいろな表現を内容で整理し、短い言葉を添え て掲示すると、ポイントが分かりやすくなります。

とびだすカードのわざ ~のりづけ[©] 切りこみ 0うずまき0 あのしくみを 生かしてみよう

▶用具の使い方

教師用指導書の大判掲示資料には、用具の使い方 に関するものが多くあります。説明するときに使用 し、そのまま掲示しておくとよいでしょう。



●板書で伝えよう

▶時間の見通しや手順

活動終了の時間や、活動の進め方などは黒板に示 していつでも確認できるようにすると、見通しがも ちやすくなります。



常に確認できるように

●座席の配置を丁夫しよう

▶いろいろな表し方

4人程度のグループで向かい合うようにすると、友 だちの活動が目に入りやすく、工夫を見たくなった らすぐに参考にすることができます。



教師用指導書の228



\2.子どもの活動に応じた導入を考えよう/





[こんな視点をもって取り組んでみよう]

大切です。

営活動の見通しをもてるようにしよう

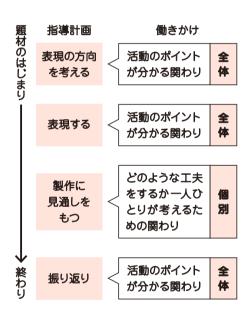
●毎時間、同じ導入がよいとは限らない

導入は、子どもたちがよりよく活動ができるようにするため の先生の関わりです。題材の中で、本時がどのような位置付 けかを意識して導入の仕方を考えてみるとよいでしょう。 例えば、題材を通して見ると「表現の方向を考える」「工夫 しながら表現する」「表現などを見て話したり考えたりする」 など、大まかな活動場面に分けることができます。本時がそ れらの活動場面の変わり目であれば、授業の導入は丁寧に 行い、子どもが活動のポイントをつかめるようにすることが

一方、前時から続けて活動を行う場面であれば、表現して いるものや振り返りを基に、これからどのような工夫をす るかを一人ひとりが考える時間を取るようにするとよいで しょう。

●本時の「表したいこと」「工夫したいこと」 を引き出そう

授業の導入では、子ども一人ひとりが「今日はここを頑張ろ う/○○をしてみたい」などの活動の見通しをもてることを 第一に考えましょう。ICT機器を活用して友だちの活動の 様子や表現の工夫を紹介したり、友だちと互いの表現のよ さや工夫したことを交流する場を設けたりするなど、子ども の様子や学習内容などに合わせて導入の仕方を考えてみま しょう。





■黒板で整理しながら、資質・能力を明確に

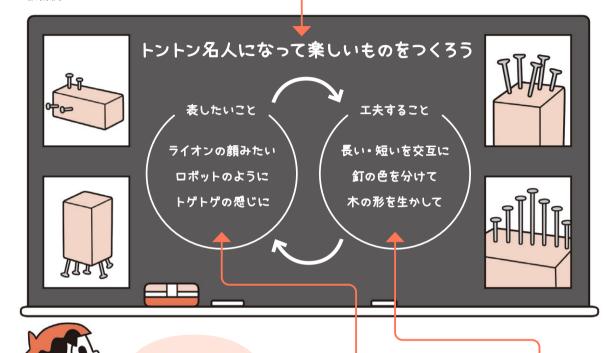
本時の活動内容が分かるように板書で整理してみましょう。

資質・能力ごとの具体的な例があると、一人ひとりが活動の見通しをもちやすくなります。

先生にとっても、指導することが明確になりますね。

本時の学習のねらい

板書例



●活動の時間の見通しもしっかりと

活動後の振り返りや片付けも大切な学習の一部です。短い 時間で慌てて行うことのないように、全体のバランスを考え て時間配分を行いましょう。時間の目安はあらかじめ黒板な どに書いておくと、子どもも時間を意識しながら取り組みや すくなります。

ぼくの表したいこ

とは決まっている

から、釘の使い方

を工夫しよう



知識及び技能に

関すること

教師用指導書の228

思考力、判断力、表現力等に

関すること

∖3.授業のはじめは全体を見よう/

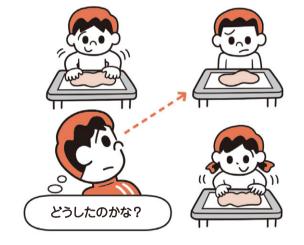


「こんな視点をもって取り組んでみよう〕

⊌どの子も活動をスタートできている?

●なかなか動き出せない子を キャッチしよう

授業の導入を終え、子どもたちが活動に入ったとき に先生が行うことは、まず教室全体を見て、どの子 も活動に入ることができているかを見取ることで す。スムーズに活動をスタートする子どもたちの中 で、なかなか動き出せない子がいるかもしれません。 そのような子どもを見付けたら、個別に支援を行い、 活動に入れるようにしましょう。



●困っていることを探って支援しよう

上記のような子どもをキャッチしたら、その子が 困っていることに応じた支援を行いましょう。困っ ている内容はさまざまで、うまく言葉にできないこ ともあるかもしれません。言葉がけは最低限に、子 どもの表情や手の動きなどを見たり、それまでの 子どもの様子と結び付けたりしながら、どんなこと に困っているのかを探っていきましょう。



様子を見た上で待つ

ペスタートできない理由に寄り添おう

●したいことがなかなか 思い浮かばない子には……

「表したいことが思い浮かばない」

「まだ考え中」

このような言葉が聞こえたら、発想や構想に困っているのかもしれません。そのような場合には、

- ▶「他の友だちがしていることを一緒に見てみよう」(友だちの活動例をヒントにする)
- ▶「違う材料もあるけど、試してみる?」(選択肢を示す)

というように、具体的な例からその子ができそうなこと、面白 そうだと感じることを見付けられるように関わってみましょう。

●失敗を恐れてじっくり考える子には……

材料や用具を触っているものの、なかなかその先へ進めないでいる子どもは、もしかすると「失敗したくない」という気持ちが強いのかもしれません。そのような場合には、

- ▶したいことがあるけど失敗しそうだと感じているのか、漠然と失敗するかもと感じているのかを見取り、具体的なアドバイスを行う
- ▶可能な範囲で、やり直しができるような材料を用意しておく などの支援を行うとよいでしょう。

●自信がなく(苦手意識が強く)、

躊躇しがちな子には……

図工という教科そのものや、何かを表現することに苦手意識をもっていたり、「何となく失敗しそう」「今回もきっとうまくいかない」というような思いをもっていたりする子どもは、なかなか活動に入れないことがあります。

そんなときはまず、やってみたいこと、面白そうだと感じることが心の中に生まれているかどうかを探ってみましょう。 また、やり直しができることを伝えて、安心して活用できるようにすることも大切です。







教師用指導書の33!

\4.ねらいに到達できるように支援しよう/





[こんな視点をもって取り組んでみよう]

どのねらいに対するつまずきなのかを考えよう

いろいろと浮かぶけれど、どうしたら よいのか分からないあの子

材料を触ったり、表し方を試したりする中で「これ もいいな」「違う方法も試してみよう」と発想は膨ら むけれど、なかなか自分の表したいことや表し方を 決められない子はいませんか? そのようなときは、 構想面での支援が必要です。



●つくりたいものはあるけれど、 うまく表せないでいるあの子

一生懸命に表しているのに「こういう感じじゃない」 「何回やってもうまくいかない」というつぶやきが聞 こえたら、その子には技能面での支援が必要かも しれません。表そうとしていることや困っているこ とを聞き取り、アドバイスを行いましょう。



●つまずきを二つのタイプに分けて考えてみよう

左ページの例のように、子どものつまずきは大きく二つに分けて考えることができます。

①構想面でのつまずき…表したいイメージが頭の中でなかなか決まらない

②技能面でのつまずき…イメージしたことを思うように表すことができない

これらのつまずきがあると、学習のねらいに到達するのは難しくなります。 目の前の子どものつまずきがどのタイプなのかを捉え、適切な支援を行いましょう。

●構想面での支援

「今、どんなことを考えていたの?」 「いいなと思っていることはある?」 「何か迷っている?」

などの言葉をかけながら、どんな発想が生まれて いるかを見取ったり、漠然としているイメージが具 体的になるように、形や色の視点からアドバイスを してみたりしましょう。

子どもの思いを大切にして「こうしたい」から「こう しよう」という子どもの主体的な活動になるための 支援です。



背中を押してあげる



楽しい感じに したい



形や色の視点でアドバイス

がいいの? Bは?



●技能面での支援

「カッターナイフがうまく使えず、思い通りに線を切 れない」

「絵の具できれいな色をつくりたいのに、いつも汚 くなる」

など、材料や用具の使い方につまずきがあるときは、 子どもの前でやって見せたり、一緒にやってみたり するとよいでしょう。その子がつまずいている内容 に応じて、使い方のコツなどを伝えながら「次はで きるかも」と見通しをもてるよう支援しましょう。









コツはね…

一緒にやってみせる

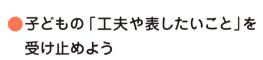
\5.子どもの工夫や意図をキャッチしよう/



[こんな視点をもって取り組んでみよう]

●子どもの視線の先、 手元の動きを見よう

ふと見ると、活動に取り組んでいた子どもの動きが 止まっていることがあります。子どもの表情や手の 動きなどを見て、困っている様子が感じられないと きは「この次どうしようかな」「これはどうかな、もっ と〇〇したい」というような、次の工夫につながるこ とを考えているのかもしれません。それはそのまま、 題材の目標(=評価)とつながっています。「今、どん な感じなの?」と声をかけ、考えていることを探って みましょう。



大人が「上手だな」「上手な表現はどれかな」と感 じる見方だけで活動や表現を見ると、子どもの意 図や工夫を見逃してしまいます。子どもの工夫は「自 分の作品をもっと○○したい」という願いや思いか ら生まれてきます。一人ひとりに寄り添い、考えてい ることや、表そうと工夫していることを見付けてい きましょう。



宇宙みたいにしたい いろんな色の星になる ように絵の具をたらそう 作品だけ 見ても…

キャッチできたら(1)

■写真や短い動画で記録してみよう

その時間のねらいや目標に対して、先生がよいと感 じた子どもの工夫や表現の変容などは、写真や短 い動画(30秒程度)で記録していきましょう。子ども の目線や手元の動きなども合わせて撮影しておく と、あとで振り返ったときに具体的なエピソードと して思い起こすことができます。



キャッチできたら(2)

引き出す声かけをしてみよう

どんな言葉をかけられたら、子どもが「うれしい」「話したいな」と感じるでしょうか。 子どもの目線や立場で、かける言葉を考えてみましょう。

「今、どんな感じ?」

工夫しているかな? どんなことを考えているかな?

「このあと、 どうなっていくの? |

イメージや見通しはあるかな? 何となく試している状況かな?

「またあとで来るね」 「またあとで教えてね」

どんな感じに変化して いくのかな?



あのね……

「それで〇〇なんだね」

「なるほど」

子どもの考えや工夫を 共感的に価値付ける。

「え~、すごいね」 「そうきたか」

「先生、そんなことまで考えてなかったな」

その時間のねらい・目標に対して、 先生がよいと感じたことを伝える。



\6.「指導に生かす評価」はなぜ必要?/

●みんなが資質・能力を

発揮できるように

作品から子どものよさを見取ることもできますが、 活動中に目の前で子どもが資質・能力を働かせて いるそのときそのときの姿から見取ることが大切です。 活動が停滞している子どもを見付け、目標とする資 質・能力が発揮できるように支援を行おうとすると、 その時々の様子を把握する必要があります。それは、 子どもの活動を近くで見ながら指導している先生に しかできないことです。

その積み重ねが、評価の妥当性につながります。

イメージに合わせて 何に困って 用具の使い方を いるのかな… 工夫しているな

●自分の中に引き出しを増やす

最初に、目標とする資質・能力を発揮している具体 的な姿(B規準)を想定しておくことが必要だとお伝 えしました(10ページ)。最初は教科書を参考に考え るのがよいですが、実際の子どもの姿を見取ること で、何が発想のきっかけになるのか、どのような反 応をするのか、教師の中に子どもを理解するための 引き出しが増えていきます。より具体的な子どもの 姿をイメージできるようになることが、授業改善や 教師自身の成長につながります。



●記録のポイント

▶さまざまな方法で

静止画や短い動画、メモなど、 ICT 機器も活用しながら記録 する。

▶凩りごとやつまずき

目標とする姿に向かえるよう、適 した支援を行い、経過を記録 する。



▶え~! すごい!

先生がすごいと感じた子ども の様子、考えなどをよさとして 記録する。

▶子どもの言葉も一緒に

子どもが話していた言葉も一 緒に記録するとあとで様子を 思い出しやすくなる。

7. 時間内に活動を 終えられるようにしよう



[こんな視点をもって取り組んでみよう]

ペ子ども自身がやるべきことを考えられるように

●時間を区切って、

活動の終わりをイメージする

活動の終わりが近付いたら「残り10分だよ」「〇時 ○分には片付けを始めるよ」など時間を明確に指 示します。その上で「今日はどこまで進めるか決め よう」など、自分の活動のゴールをイメージできるよ うな声かけをしましょう。

●新しい活動には入らない

活動の終わりがイメージしにくい子には「新しい材 料を使うのは〇時〇分までにするよ」「今やってい ることで終わりにしよう」など、より具体的な指示 を行います。

●時間内に終わらなかった子には

作品が完成しないなど、時間内に活動が終わらな かった子どもには、何を行いたいか聞き取ったり、 別の時間を保障したりしながら、個別に支援しま しょう。







教師用指導書の328

\8. 学習の振り返りをしよう /



振り返りって実はとても大切! 振り返りの内容次第で次の時間からの 活動が大きく変わるよ 短い時間でも 大丈夫だよ

「こんな視点をもって取り組んでみよう〕

一次時や完成につながる振り返りを考えよう

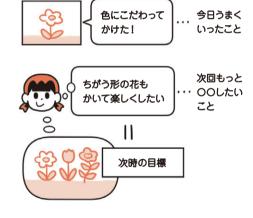
● 「振り返り」自体が目的ではない

振り返りは、自分の表現でもっとよくしたいことや、新たに頑 張りたいことを考え、次の時間の目標につなげるためのもの です。そのとき、漠然と「振り返ってみよう」と促すのではなく、 例えば、次のような視点を子どもに提案すると、具体的に考 えやすくなります。

- ▶自分の考えた「目標」「頑張ること」についてどうだった かな?
- ▶今日の授業で「うまくいった」「いい工夫ができた」とこ ろは?
- **▶**[もっとこうしたい][こうすればよかった]ところは?

●毎時間、同じ方法じゃなくてもOK

終わりの時間ギリギリまで活動をして、慌ててワークシート に書くような振り返りをしても、落ち着いて考えることが難 しい子もいるかもしれません。短い時間しか取れないときは 「うまくいったと思うことを一つ見付けて、友だちと話そう」 と促すこともできます。子どもにどんなことを考えてほしい のか、そのためにどんな方法がよいのか、考えておきましょう。





■学年の発達に応じた振り返りをしよう

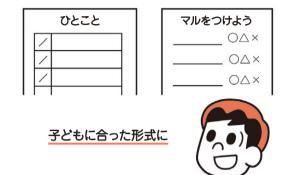
考えたことをワークシートに書くとしても、1年生と6年生では内容や量も大きく異なります。 次のページの方法などを基に、目の前の子どもに合った方法を考えてみましょう。

ぴったりな方法を選ぼう

言葉に表すことに限らず、写真を撮ったり、すてきな表現を探したりするなど、活動 を诵して振り返ることで、一人ひとりの見方も深まります。

ワークシートなどに書く

感じたことや考えたことをワークシートなどにメモ しておくと、次の学習が始まる前に思い返すことが できます。振り返りのテーマに沿って考えたことを 文章や図でかいたり、自分なりの評価を何段階か で○をつけておくなど、発達や活動内容に応じて ワークシートの項目を考えましょう。



●友だちと伝え合う・

見付け合いをする

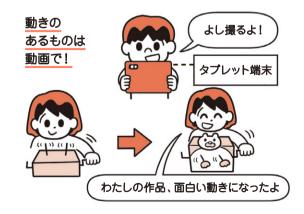
友だち同士で作品を見たり、よさを伝え合ったりす ることで、違う視点で自分の作品のよさに気付くよ うな振り返りもできます。下記のようなテーマ例を 設定しておくと、作品を見る視点が明確になり、伝 える内容も具体的になります。

- ▶あなたの作品のすてきなところはね……
- ▶あなたの作品に名前を付けるとしたら……
- ▶あなたのテーマに合っていると思うところは……
- ▶私が自慢したい工夫は……

●写真や動画で撮る

タブレット端末を使い、自分の作品の「いい工夫が できたところ」などを撮影して振り返りをすることも できます。「どの部分を撮ろうかな」と作品を見つめ ることで、改めて自分の考えや工夫、作品のよさを 振り返ることにつながります。





\9. 片付けも大切な学びの一つ!/

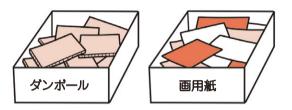
図丁ではさまざまな用具や場所を使います。活動を楽しむだけではなく、そのあと に用具や場所を使う人のことを考え「使う前よりもきれいにしよう」という気持ちで 片付けに取り組めるようにしましょう。

「こんな視点をもって取り組んでみよう〕

営材料を大切にする心を育てよう

●共通の材料や用具

共通の材料は箱などを用意して、種類ごとに分けて 保管しましょう。用具は教卓の近くに用具コーナー を設けます。刃物などを片付けるときは安全に配慮 しましょう。用具の数の確認も忘れずに。



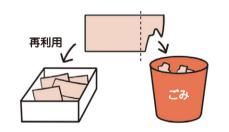
●個人の材料や製作途中のもの

次の時間にも使用するものは、記名したビニル袋 やクリアファイルなどに入れ、子どもが各自で保管 するか、先生がまとめてダンボール箱に入れて保管 します。



●分別名人に!

使い終わった材料の中にはまだ使えるものが混ざっ ていることも。「うまく使えばお宝材料」と伝えて集 めておきましょう。画用紙の切れ端などはカットし て使える部分を残しておくといいですね。



●活動場所の清掃

自分の場所を片付けたら、教室全体の清掃を行い ましょう。丁寧に掃除する姿勢を褒める声かけも大 切にするといいですね。



1. 子どもの考えたことや 工夫が伝わる展示をしよう



一何のための展示か、意味を考えてみよう

鑑賞の場になるように掲示しよう

廊下に作品を掲示すると、そこは子ども同士の鑑賞の場にな ります。「すごい工夫だね」「きれいな色!」と、感じたことを 話したり伝えたりする姿が生まれます。気付いてほしいとこ ろが見やすいよう意図的に掲示するなど、工夫してみましょう。



●子どもの気持ちになって見てみよう

掲示板の中でも、子どもの目線より高かったり低かったりし て見づらい場所があります。子どもは自分の作品がどの位置 に掲示されているのかよく見ています。毎回見やすい場所に 掲示されている作品が「上手な作品だ」と誤解を招かない ようにしましょう。



●保護者と子どもの成長を共有する

掲示期間を終えた作品は大切に持ち帰り「おうちの人と作 品について話してみてね」と伝えましょう。造形遊びや持ち 帰りにくい立体作品などは、各自のタブレット端末で撮影し ておくと、家でも見ることができます。



教師用指導書の22!

材料・用具編 → 作品の展示

教師用指導書の33!

\2.一つの題材が終わったら/

あー、一つの題材が 授業が終わったら 終わったから 評価の記録を整理 次の題材の準備を するのを忘れずにね しなきゃね

あ! ここでまた3観点 に沿った姿の整理をし ておけばいいですね?

そうそう! あまり記録に上 がらない子もチェックして、 次の題材で積極的に見取 るといいよね





そのときそのときの見取りをつなげ、

題材を通した評価へ

一つの題材が終わったら、評価規準を基に記録した子ども の様子を振り返ってみましょう。先生がその子のよさとして 見取った姿を、3観点に沿って資質・能力で整理すること で、題材を通した子どもの評価が見えてきます。

もし題材を通して記録の少ない子どもがいた場合、そのあ との題材で意識して見取り、記録をするようにしましょう。複 数の題材の評価を総合して、指導要録の評定へつなげてい きます。

●他の先生と作品を見ながら話し合ってみよう

掲示板や廊下などに掲示した子どもの作品は、先生同士の 見方を交流するチャンスです。会話の中から、子どものよさ に改めて気付くきっかけになることもあります。また、先生自 身の評価観を成長させる機会にもなります。

●子どもの成長を保護者に伝えよう

動画や写真など、評価規準の3観点に沿って整理した評価 資料は、保護者会などで子どもの成長を伝える資料にもな ります。掲示している作品や写真などの映像を見せながら、 具体的なエピソードを添えて伝えてみましょう。







「時間がない」 「忙しい」ときこそ!

教師用指導書を うまく活用しよう

よりよい授業をしたいけれど時間がない、 忙しい。そんな先生をサポートするのが 教師用指導書です。豊富なコンテンツで先生の 「困った | 「あったらいいな | に応えます。









数師用指導書の33!





教師用指導書には授業研究の ヒントがたくさんあるよねぇ。 使わないともったいない!









先生の 困った… や あったらいいな に応える



教師用指導書コンテンツ

評価規準や 指導のポイントが 知りたい

時数に合わせた 展開や、具体的な 発問や声かけの 例を知りたい

QRコンテンツを いつ、どこで、 どのように使えば いいかを知りたい



安全で適切な 材料や用具の 使い方を知りたい

教科書や掲示用 資料をモニターに 映せたら便利だな 鑑賞の授業を サポートしてほしい

令和6年度版 教師用指導書コンテンツ一覧

朱書編[冊子]

解說 指導解説編 [冊子]

材料・用具編 [電子ブック]

指導者用デジタル教科書(教材)[デジタル]

QR QRコンテンツ活用ガイド [冊子]

アート・カード [カード/冊子]

△◇ 大判掲示資料 [紙資料]

これで解決! 図工の授業 [電子ブック]

掲載している紙面等は全て編集中のものです。変更になる可能性があります。

朱書編

[冊子]

教科書紙面と照らし合わせながら活動の流れや評価のポイント、指導の手立てなどを確認することができます。授業の準備 に必要な情報が詰まった一冊です。

どんな準備が必要かを確認したい こって、 こって、

- 評価する子どもの姿や作品を理解したい
- □ つまずきのフォローや 安全指導のポイントを知りたい

こんなときに 使えるよ

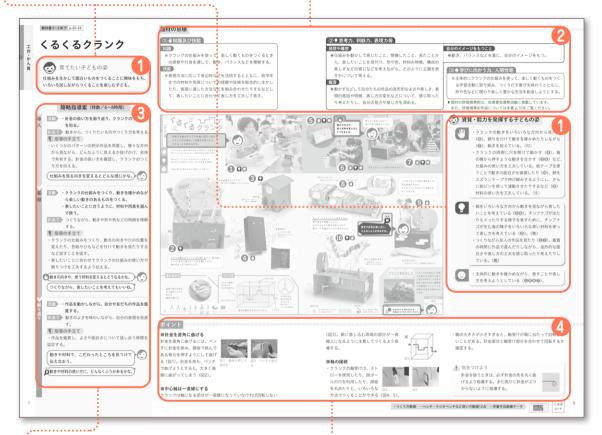


●子どもの姿を具体的にイメージしよう

「育てたい子どもの姿」と、教科書の活動写真や作品を例に「資質・能力を発揮する子どもの姿」を具体的に説明しています。

② 資質・能力に基づく目標を考えよう

題材の目標を3観点6項目で丁寧に示しています。 表現の題材は鑑賞活動と往還しながら学習を進め ることができます。



③授業の流れをつかもう

学習指導案の簡略版を掲載しました。教科書紙面と合わせて授業の流れを確認することができます。

₫指導のポイントを押さえよう

安全指導、技能面でのつまずきに対する支援、意 欲を引き出す導入など、実際の授業に即したポイン トを解説しています。

導入・展開・振 り返りの流れが 分かりやすい!



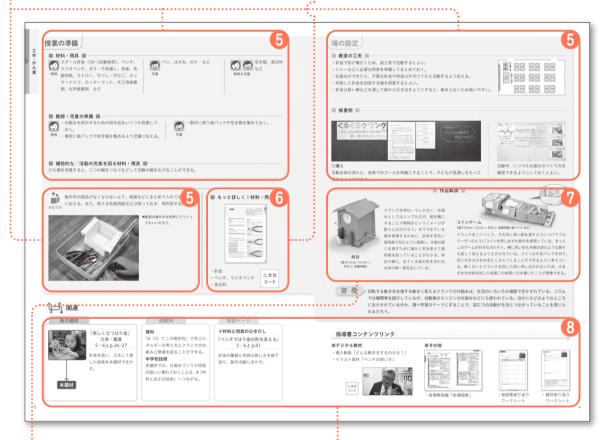
教科書の誌面が 載っているからイ メージしやすいな

·63準備物、場所や配置を考えよう

材料・用具、活動の充実を図る準備物、片付けの際のポイントを紹介。ほかにも活動しやすい場の設定など授業の準備に役立ちます。

6 材料・用具の使い方を確認しよう

QRコードから材料・用具の使い方の詳しい解説を 参照できます。手元のタブレット端末からいつでも 確認できます。



②子どもの作品の見方を知ろう

教科書に掲載されている作品について、使われている技法や、発揮されている資質・能力などを解説しています。



材料・用具から場所 や配置、板書例まで 載っているんですね!

◎関連資料もチェック

発達の段階とともに学びを深めることができるよう、 関連する題材や教科を示しています。教師用指導 書の関連コンテンツも一目で確認できます。

子どもが自ら必要な 情報をキャッチできる 場づくりをしましょう



指導解説編

[冊子]

目標や評価規準はもちろんのこと、各題材の児童観、 題材観、指導観といった指導する上で押さえておきたい 視点や、時数に合わせた展開例について解説しています。

目標に到達するための手立てを知りたい
」指導と評価を一体的に進めたい
<mark>】具体的な発問や声かけの例を知りたい</mark>
授業の展開例を具体的に知りたい

こんなときに 使えるよ



●題材についての理解を深めよう

「題材設定の理由」では、児童観、題材観、指導観の三つの観点から題材を説明しています。

②目標~手立て~評価の関連性を知ろう

各題材において3観点6項目の目標を示し、項目ご とに具体的な指導の手立てと評価規準例を解説し ています。



目標と手立てと評価が一覧になっていて便利ですね!

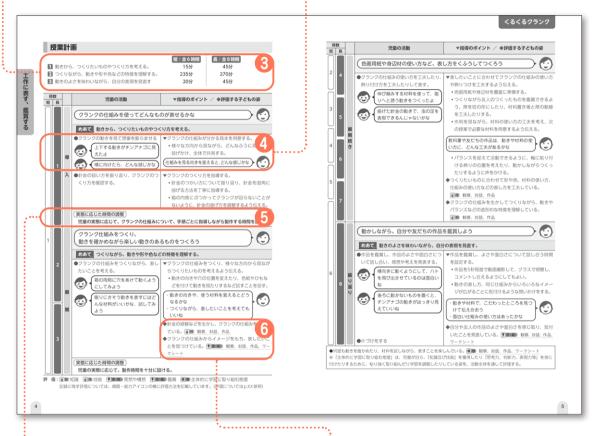
目標に向かって何を、どう するのか、どんな観点で評価するのが一目で分かるので、指導と評価を一体的に 進めることができるんです



子どもの学習過程とともに、短時間と長時間で実践する場合の時数と時間配分の目安を示しています。

⁴ □指導のポイントや発問例をチェック

教師が子どもに投げかける言葉の例や、それに対して想定される子どもの反応をつぶやきの形で例示しています。



⑤実態に応じて時間を調整しよう

活動時間を延長したほうがよいと考えられる子どもの様子や、次の活動に移るタイミングなどに関する配慮事項を示しています。



授業の具体的な 流れをつかむこ とができますね!

⑥評価する子どもの姿

題材の評価規準に基づき、授業のどの場面で各観点の評価を行うか確認することができます。

一例なので、参考にしつ つ学校や子どもの実態 に合わせてどんどんカス タマイズするといいねぇ





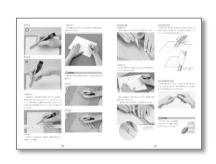
充実の教師用指導書コンテンツ

手元のタブレット端末からいつでもすぐに確認できる電子ブック版「材料・用具編」、 学びを広げる「指導者用デジタル教科書(教材)」や「QRコンテンツ活用ガイド」のほか、 「アート・カード」や「大判掲示資料」といった授業で使えるコンテンツもセットになって、先生方の授業づくりをサポートします。



材料・用具編 [電子ブック]

材料の特徴、用具の 安全な使い方など、図 画工作で使用する材料・用具の基礎から 応用までを詳しく解説 しています。





指導者用デジタル教科書(教材)[デジタル]

電子黒板に映したりポイントをかき込んだりできるデジタル教科書に加え、授業動画やワークシート、年間指導計画例など豊富なコンテンツを収録。





QRコンテンツ活用ガイド [冊子]

「KOMA KOMA ×日 文」「アート・カードア プリ」の使い方、授業 での「ずこうたいそう」 の取り入れ方など、QR コンテンツの効果的な 活用法を紹介します。





アート・カード [カード/冊子]

「作品」「素材」「言葉」の3種類のカードを使って アートゲームをすることができます。解説冊子には、 作品の詳しい情報やカードの使い方、学習指導案 例などが掲載されています。



上巻・下巻に同じものが 3セットずつ入っているから 6グループで楽しめるよ





~

大判掲示資料 [紙資料]

材料・用具の使い方、身近なものの鑑賞、美術作品 などを大判ポスターにしました。授業時に教室に貼っ て指導したり、図工室に掲示して学びを深めたりす ることができます。









これで解決! 図工の授業[電子ブック]

本冊の電子ブック版を収録。電子ブック版では、年間指導計画作成のポイントも詳しく解説しています。

執筆 中村珠世

1972 年生まれ。小学校主幹教諭。北海道教育大学大学院 (美術教育)修了。北海道教育大学附属札幌小学校に9年間 勤務後、札幌市内の公立小学校で図画工作の指導を行う。

監修 阿部宏行

1954年生まれ。元北海道教育大学教授。中央教育審議会 初等中等教育分科会教育課程部会 幼児教育部会委員、同芸術ワーキンググループ委員(平成29年)などを歴任。

∖先生の疑問や悩みに応える/

日文のWebコンテンツ

図工のお悩み相談室

「自分が絵がへたなのに、図工の授業で子どもに教える自信がありま せん | 「評価がどうしても主観的になってしまう気がします……」など、 日々子どもたちと向き合う中で生まれる先生方の疑問や悩みに、ベテ ランの先生がお答えします。



図工のABCシリーズ

さらに図工や子どものことを 知りたくなったら、本書監修の 阿部宏行先生による「ABCシ リーズ | がおすすめ。 かわいい 4コマ漫画と温かい語り口の コラムによる構成で、長年に わたって小学校の先生方に支 持されています。日文の公式 Webサイトで公開中。





読者の声

ABCシリーズは校内研修で 使用し、学校全体の授業が変 わったことを実感しています。



これで解決! 図工の授業

日文 教授用資料

令和5年(2023年)9月25日発行

編集·発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5

TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

日本文教出版 烘電

〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16 東京本社 TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5 TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14 九州支社 TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東 海 支 社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F•B TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1 TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690

CD33647